



- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

16名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます

卒業生及び卒業生保護者の皆さん ご卒業おめでとうございます。
145年の伝統ある白根源小学校の卒業生としての誇りを胸に、新しい
ステージに向けて、大きく羽ばたいていってください。

本日の卒業式での校長の卒業生に贈る言葉の全文を載せました。卒業
生・卒業生保護者の皆さんには、もう一度、読んでいただくと幸いです。



卒業生に贈る言葉

厳しい冬を乗り越え、校庭の桜が咲きはじめています。春の息吹が感じられるこの良き日に、南アルプス市 産業観光
部長 矢崎幹男様のご臨席を賜り、令和二年度白根源小学校卒業証書授与式が挙行できますことを、心より感謝申し上げ
ます。

十六名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取る皆さんの姿は、希望に満ちあふれ、キラ
キラと輝き、とても立派でした。卒業証書は、皆さんの六年間の「努力の結晶」です。同時に、家族の皆さんの「愛情の
結晶」でもあります。そして、かけがえのない一人ひとりの「六年間の成長の証」です。大切にしてください。

さて、今年度はスタートから大変な一年でした。新型コロナウイルス感染症のために、四月に入学式や始業式が行われ
ず、三月の緊急事態宣言から三か月に及び休校となりました。長い休校により、学校に行き仲間と会うことも、先生方
と会うこともできない異常事態となりました。最高学年として、下級生にあんなこともこんなこともやってあげたい。リ
ーダーとして、全校をこんな風に引っ張って行こう という皆さんの熱い思いも壊してしまうものでした。

しかし、休校が終わってからのみなさんは、生き生きしていました。このコロナ禍の中で、「集まらないで、みんなで
楽しむにはどうしたら良いのか」を考え、いろいろな企画をしてくださいました。特に、接触を避けるために、校内のテレビ
放送をうまく使い、クイズやインタビュー、紹介など、さながらテレビ局のように凝った演出で、全校を楽しませてくれ
ました。

運動会では、大声を出しての応援ができないので、ペットボトルの鳴り物を使い、色ごとに応援リズムのパターンを作
り、下級生に指示を出し、新しい応援で競技を盛り上げてくれました。また、休み時間に競争競技のコツを下級生に指導
し、最高学年として下級生を引っ張ってくれました。

学習発表会では、今まで取り組んできた総合的な学習のまとめとして、徳島堰や養蚕から果樹栽培への歴史を劇化して
下級生や保護者の皆さんに伝えました。六年生の演技力に下級生はくぎ付けとなりました。

皆さんの修学旅行は、延期、延期の末、やっと行われました。感染リスクをなるべく少なくすることや県内の素晴らし
いところを知り、それを自分たちの地域の魅力発信につなげるために、県内での一泊二日の修学旅行となりました。仲間
と一緒にあれば、どこに行っても楽しい修学旅行だと思いますが、県内のいろいろな地域を訪れる中で、みなさんは、自
分たちが住んでいる源地区を振り返り、「もっとこうすれば発展するな」、「もっとこういう風にアピールすれば良いの
に」等、いろいろなアイデアが浮かんできたのではないのでしょうか。私もこの旅行をとおして、県内各地の素晴らしさと
六年生の仲間との絆の深さを再確認することができました。

さて、中学校という新しいステージに立つみなさんをお願いがあります。小学校を卒業しても「実感」と「手ごたえ」



を大切にしてほしいということです。中学校の学習は、どちらかというと、物事を抽象的に
とらえたり、知識として学んだり、机の上での学習が多くなります。しかし、小学校で学ん
だように、実際のものに触れたり、実際に育てたり、実際の場所に行ったり、実際のもの
を見たり聞いたりする活動が大切です。そして、実際のものに触れ合うことにより、それが
『実感』となって自分自身の中に蓄えられていきます。また、実際にやってみることに
より、いろいろなことが分かってきます。「そうかこうやればいいんだな。」「こうやったら

うまくいった。」「こうやると次はもっとできるぞ。」等々、『手ごたえ』を感じる事が大切だと思うのです。今、インターネットやSNSなど、映像や写真など、間接的な情報が氾濫しています。そういう時だからこそ、これからの時代を創っていく皆さんには、『実感』と『手応え』を大切に、一歩ずつ、力強く進んでほしいと思います。次のステージでの皆さんの活躍を陰ながら応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業おめでとうございます。お子様が立派に成長されたことを、心からお慶び申し上げます。六年間、様々なご苦労があったことと思いますが、今日の晴れ姿をごらんになり、その苦労も、喜びに変わったことと思います。卒業生は中学校という次のステージへと向かいますが、これからも温かく、時には厳しく、子どもたちに愛情を注ぎ、その成長を見守っていただきますようお願い申し上げます。

最後に、六年間の長きにわたり、本日巣立っていく卒業生を温かく見守り、支えていただいた地域の皆様には、全職員とともに、心から感謝申し上げます。

それでは、十六名の卒業生の皆さん、皆さんの前途に、幸多からんことをお祈りし、卒業生に贈る言葉といたします。

令和三年三月十九日

南アルプス市立白根源小学校 校長 河村 徳仁



PTA会長の清水秀美様より、心温まる御祝辞をいただきました。

今年はコロナの関係で、来賓は南アルプス市産業観光部長の矢崎幹男様だけです。御祝辞を披露する場がありません。紙面をもってご披露させていただきます。心温まる御祝辞をありがとうございました。



祝 辞

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

自然豊かな環境、伝統ある白根源小学校で学んだ六年間。仲間と共に学び合い、喜び合い、励まし合い、切磋琢磨して、今日この日を迎えることができました。心も体も立派に成長しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症のために、一斉休校からの学校再開、運動会、修学旅行をはじめ、いろいろな行事が縮小や変更を余儀なくされました。

今までに経験したことのない状況の中において、不安、焦り、戸惑いばかりでした。当たり前と思っていたことが、幸せだった、大切だった、小さな一つ一つのことが、嬉しかった、楽しかった、ありがたかったと学びました。これらからの学びは、これから皆さんが成長し、大人になるとき、困難な状況になっても、負けない、力強い気持ちが生かされることを信じています。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。感激も一人の事とお喜び申し上げます。六年間、PTA活動にたくさんのご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。子供とともに悩んだり喜んだりの中においては、ご苦労や感動することが多々あったことと思います。子供たちのおかげで、私たち大人もより一層成長できたのではないのでしょうか。これからも共に子供たちを見守っていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご来賓、地域の皆様には、日頃より子供たちの健全のために温かく見守っていただきました。そのご尽力に対しまして、厚くお礼申し上げます。これからも、卒業生並びに、白根源小学校へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生はじめ、諸先生の皆様には、温かく、優しく、時には愛のある厳しさで、子供たちをお導きくださいました。六年間ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

本日、白根源小学校16名の児童がこの学び舎を旅立ちます。ここまで育て、見守ってくださった家族、先生方、地域の方々への感謝の気持ちを忘れることなく、これからの中学校生活、人生が、夢と希望に満ち、光り輝くことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和三年 三月十九日

白根源小学校PTA会長 清水 秀美

